

令和元年7月19日

▼タイトル

了佐てらこや小学校の開校

▼概要

江戸初期の儒学者の中江藤樹の門人で、人一倍努力して名医となった大洲出身の大野了佐にならい、「了佐てらこや小学校」を開校し、入校を希望した市内の小学生に、わが国古来の学習法である「読み」「書き」の大切さを体得させたり、ものづくりや科学体験をとおして工夫や努力することの大切さを学ばせたりします。

▼日時 令和元年7月30日・8月1日・8月2日・8月6日・8月8日
9時～11時45分

▼場所 近江聖人中江藤樹記念館

▼内容 日展会友の西川守彦氏が講師になり、「論語」の素読・「論語」のことばを教材とした毛筆習字を指導し、最終日にはグループに分かれて大きな用紙に論語の習字作品を仕上げます。また、職員が科学体験やものづくりを教えるとともに、本年度は朽木資料館等の見学も行います。

▼対象 市内小学校4年生から6年生で入校を希望した児童18名

▼費用 5日間の授業料2000円およびテキスト「論語のこころ」代413円

▼問い合わせ先

- 所属 属：中江藤樹記念館
- 担当 当：館長 富永 雄教
- 電話番号：0740（32）0330
- ファックス：0740（32）0330